

国語科学習指導案

河内長野市立千代田小学校

指導者 ○○ ○○

○○ ○○

○○ ○○

1. 日時 令和8年2月10日(火)5時間目(13:55~14:40)
2. 場所 河内長野市立千代田小学校 1年1組教室、1年2組教室、1年3組教室
3. 学年・組 第1学年1組(35名)、2組(36名)、3組(35名)
4. 単元名 くらべてよもう
5. 教材名 『どうぶつの赤ちゃん』(光村図書)

6. 単元の目標

○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。

【知識及び技能】(2)ア

◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。

【思考力、判断力、表現力等】C(1)カ

○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。【知識及び技能】(3)エ

○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

7. 指導にあたって

(1)児童について

1学期は読むこと、書くことが難しい子どもが多かったが、2学期に入りひらがなが定着してきたとともに、図書の授業で読書ノートの活動が始まったことで本を読む意欲が高まり、読書に進んで取り組む姿勢が見られる。また、日々の授業の中での本読みも繰り返し読む活動を取り入れることで自信を持って大きな声で本読みをする子どもが多い。

『どうぶつの赤ちゃん』につながる単元として『じどう車くらべ』の学習を行っている。自分が選んだ自動車で自動車図鑑を作る活動では、楽しみながら自分が好きな自動車を選ぶことができた。また、教材文を読む中で学んだ「しごと」と「つくり」を見つけるためのキーワードを活用しながら情報を見つけ

ようとする姿勢があった。しかしながら、初見で文から必要な情報を抜き出すことが難しい子どもも一定数いる。教材文の読み取りを活用しながら初見の文を読んで必要な情報を選び出すための手立てが必要である。

(2) 教材について

本校の研究テーマは「主体的、協働的な学びの中で、自分の考えを表現できる子どもの育成～国語科の説明文において読み取る力・書く力を高める指導の工夫～」である。この研究テーマに沿って、本教材では以下の力を身につけさせることを狙っている。

1年生の説明的文章では、「問い」と「答え」を捉え、キーワードを見つけながら読み進めるとともに、自分の考えを書き表す学習を繰り返している。1年生で学習する説明的文章は、問いに対する答えが順序よく説明されている。本単元では、まず、教材文で情報と情報の関係について理解する力をつけさせる。次に、自分で選んだどうぶつの赤ちゃんについてまとめる活動では自分で必要な情報をキーワードをもとに選び取ることができるようにしていくことを目指す。そのことによって、2年生では大事な言葉、特徴を抜き出す力が求められる学習につなげていく。また、分かったことや気づいたことを伝え合ったり、自分の考えを書いて表現したりすることができるように各時間の最後に学習内容をもとにふりかえる時間を取るようになっていきたい。

8. 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
①共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア ②読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ	文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。C(1)カ	文章の内容を比べながら粘り強く読み、学習の見通しをもって、本から得たことを友だちに知らせようとしている。

9. 指導と評価の計画（11時間）

	時間	ねらい・学習活動	評価規準(観点) 【評価方法】等 ◎指導に生かす評価 ○記録に残す評価
1	第1時	・いろいろな動物の赤ちゃんの写真を見て、動物の赤ちゃんへの興味・関心をもつ。 ・動物の赤ちゃん紹介カードを作ることを知る。	◎主体【行動観察】
	第2時	・指導者の範読を聞く。 ・範読を聞いて初めて知ったことやもっと知りたいと思ったことを書き、交流する。	◎思・判・表【ノート】
2	第3時	・問いを見つける。	◎知・技①【ノート】

	第4時 第5時 第6時	<ul style="list-style-type: none"> ・生まれたばかりのライオンの赤ちゃんの成長の様子としまうまの赤ちゃんの成長の様子を観点ごとに比べながら読む。 ・ライオンとしまうまの赤ちゃんの成長を比べて、似ているところ、似ていないところについて考えたことを書く。 ・書いたことを交流する。 	◎知・技①【プリント】 ○思・判・表 【プリント】
	第7時	<ul style="list-style-type: none"> ・カンガルーの赤ちゃんの成長の様子とライオンとしまうまの赤ちゃんの成長の様子を観点ごとに比べながら読む。 ・カンガルーの赤ちゃんの成長とライオン、しまうまの赤ちゃんの成長の様子を比べて、似ているところ、似ていないところについて考えたことを書く。 ・書いたことを交流する。 	◎知・技①【プリント】 ○思・判・表 【プリント】
3	第8時	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな動物の赤ちゃんを図鑑から選ぶ。 ・選んだ動物の絵を描く。 	◎知・技②【プリント】
	第9時	・自分が選んだ動物の赤ちゃんについての特徴をカードにまとめる。	○知・技①【プリント】
	第10時 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ動物の赤ちゃんとライオン、しまうま、カンガルーを比べて分かったことや気づいたことを書く。 ・書いたことを交流する。 ・感想を伝える。 	○思・判・表 【プリント】
	第11時	・各クラスで紹介カードを交換して読み合う。	○主体【行動観察】

10. 本時の展開

(1) 本時の目標

文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。【思】C(1)カ

(2) 本時の評価規準

文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。【思】C(1)カ

(3) 本時の判断基準

十分満足できる状況(A)	概ね満足できる状況(B)	努力を要する子どもへの支援(C)
自分が選んだどうぶつの赤ちゃんと他のどうぶつの赤ちゃんを詳しく比べることができる。	自分が選んだどうぶつの赤ちゃんと他のどうぶつの赤ちゃんを比べることができる。	既習事項を観点ごとに振り返りよう声かけする。

(4) 本時の学習過程

時	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準(観点) 【評価方法】等 ◎指導に生かす評価 ○記録に残す評価

5	<p>①前時までのふり返しをする。</p> <p>②本時のめあてを確認する。</p>	<p>・問いを確認させる。</p> <p>・ライオン、しまうま、カンガルーの赤ちゃんの同じところや違うところを確認させる。</p> <p>・自分の選んだ動物の赤ちゃんと比較する他の動物の赤ちゃんを選ばせる。</p>	
<p>◎ じぶんが えらんだ どうぶつの 赤ちゃんと ほかの どうぶつの 赤ちゃんをくらべよう。</p>			
25	<p>③自分が選んだどうぶつの赤ちゃんをライオン、しまうま、カンガルーの赤ちゃんを比べて気づいたこと、分かったことを書く。</p>	<p>・音読をさせる。</p> <p>・書くときの評価のポイントを前に提示する。</p>	<p>○思・判・表 【プリント】</p>
10	<p>④書いたことを交流する。</p>		
5	<p>⑤ふりかえりをする。</p>		

11. 板書計画

<p>A 評価・B 評価の例示</p>	<p>ライオン・しまうま・カンガルーの プリントの拡大</p>	<p>④め じぶんが えらんだ どうぶつの 赤ちゃんと ほかの どうぶつの 赤ちゃんを くらべよう。</p> <p style="text-align: center;">せつめい文</p> <p style="text-align: right;">どうぶつの 赤ちゃん</p>
---------------------	-------------------------------------	--